

よ り 使 い や す く !

## ★本館2階をリニューアルしました（その2）



カウンター前を広くしました。当日返却された本を置く棚は、新刊本の隣にあります。机は明るい窓側に向けました。ゆっくり読書を楽しんでください。



雑誌のバックナンバーのコーナーを北側の出窓付近に作りました。閲覧用の椅子も置いてあります。（この場所にあった文庫・ノベルズは、YA文庫コーナーに移動しました。）

## 職員のおすすめ《この書き手に注目！》

### 川上 和人

（かわかみ かずと 1973年大阪府生まれ）

東京大学農学部林学科卒、同大学院農学生命科学研究科中退。農学博士。国立研究開発法人森林総合研究所主任研究員。著作に『鳥類学者 無謀にも恐竜を語る』（技術評論社）など。図鑑の監修も多い。

ご紹介するのは『鳥類学者だからって、鳥が好きだと思ふなよ。』（新潮社）です。

この本は、著者が泳いでしか行けない島へ行きピッコロ大魔王4人分の高さのある断崖絶壁を登り、反物質がないため消滅しない鳥の死体を分解するハエ天国で、呼吸のたびに口にハエどもが入るなか、「ハエどもは鳥の死体を食べている。鶏肉100%」と自らを騙しながら調査し、鳥や島の生態系と外来生物について、また著者の日常や学会について、小ネタやギャグを交えて書かれた本です。ノンフィクションだけに学者さんは結構ハードワークで心証を損ねるかと思いきや、映画やアニメの比喩が随所に散りばめられているので、穏やかに馴染めます。

そして、締めるところは締める。

とにかく面白い。とにかく川上さんのクセが強い。鳥に興味無しの私もふと鳥を探す様に…。著者の川上さんの意企なのか？中毒性有。

（桜ヶ丘分館 三浦）

### 夏川 草介

（なつかわ そうすけ 1978年大阪府生まれ）

信州大学医学部卒。長野県にて地域医療に従事。2009年『神様のカルテ』で第10回小学館文庫小説賞を受賞しデビュー。2010年本屋大賞第2位。他の著書に『本を守ろうとする猫の話』（小学館）など。

今回紹介する本はシリーズ2作目『神様のカルテ2』（小学館）です。

主人公の栗原一止は、夏目漱石を敬愛する信州の内科医。「24時間365日対応」を掲げる本庄病院で連日連夜不眠不休の診療を続けています。写真家の妻・ハルに献身的に支えられ、頼りになる同僚、下宿先「御嶽荘」の愉快的な住人たちに力をもらい、日々の診療をなんとかこなしています。四月、東京の大学病院から一止と信濃大学の同級生だった進藤辰也が赴任します。けれど着任後の進藤に、病棟内で信じがたい悪評が立ち、失意する一止に、尊敬する副部長先生の突然の発病と、更なる試練が襲います。

現役の医師が書いているとあり、現代の医療が抱える問題を踏まえつつ、命とは何か、人の絆とは、と訴える素敵な作品です。病院というものは死が日常の世界だから仕方ないとはいえ、話の展開には心に重いものが残ります。でも希望もある。そんな爽やかな気持ちになれる作品です。（本館 樫山）

## あたらしく入った本

分類	書名	著者名	出版者名
心理・宗教			
146.8/ナ/	<b>10代のための疲れた心がラクになる本</b> 友だち関係、勉強、家族、容姿…。生きづらさを抱えている10代に向けて、ストレスの正体や「超敏感気質(HSP)」についての知識を紹介。どうすれば気持ちを変え、行動を変えられるか具体的な方法をまとめる。	長沼睦雄／著	誠文堂新光社
159.6/パ/	<b>笑顔と思いやりで幸せになる</b> 「和やかな笑顔」と「思いやりのある言葉づかい」で、あなたも周りも、幸せに！幸せを感じるための生き方のヒントや、良好な人間関係を築く秘訣、輝く女性の「若い」の生かし方を紹介する。	坂東眞理子／著	清流出版
歴史・伝記			
209.5/オ/	<b>大川周明「世界史」</b> クーデター首謀者あるいはA級戦犯として投獄されるも、日本思想界の頂点に立ち「東亜の論客」と呼ばれた男、大川周明の著作をまとめたもの。旧字を新字に、旧仮名遣いを新仮名遣いに改め、ルビや註を施す。	大川周明／著	毎日ワンス
289.1/7/	<b>明智光秀（洋泉社 MOOK）</b> 明智光秀とは何者だったのか？なぜ、光秀は本能寺の変を起こしたのか？なぜ、長らく悪人とされてきたのか？バールに包まれた前半生、本能寺の変当日の動向と最後の12日間から、謎多き智将の実像に迫る。		洋泉社
社会			
361.4/ト/	<b>伝達の整理学</b> 人間にとって大事なものは思考の整理と並んで、ことばの伝達とその整理学。思考の伝達が苦手な日本人に向けて、AIに脅かされる現代人の知のあるべき姿を提言する。	外山滋比古／著	筑摩書房
364.6/オ/	<b>60歳からの働き方で、もらえる年金がこんなに変わる</b> もらえる年金は60歳からの働き方次第！そろそろ年金のことが気になってきたサラリーマンに向け、年金で損をしないために知っておきたいことをまとめた書。よくある質問にも答える。	奥野文夫／著	WAVE出版
367.2/コ/	<b>さよなら！ハラスメント</b> なぜハラスメントが起きるのか？ハラスメントのない社会にするために何が必要なのか？自分にできることは何か？ハラスメントと社会について考えるためのヒントを、小島慶子が11人の識者に尋ねるインタビュー集。	小島慶子／編著	晶文社
自然科学・医学			
488.2/カ/	<b>見つけて楽しむ身近な野鳥の観察ガイド</b> 鳥の習性や行動の不思議を通じて、野鳥の見つけかたと観察のしかたを紹介。日常で出会う可能性が高い鳥の識別ポイントや雌雄、飛翔の様子、生息環境等の写真も多数収録する。鳥にまつわるエピソードや野外で役立つ知識も掲載。	梶ヶ谷博／編著	緑書房
496.9/コ/	<b>吃音</b> 頭の中に伝えたい言葉ははっきりとあるのに、相手に伝える前に詰まってしまう吃音。自らも悩んだ著者が、80人以上に丹念に話を聞き、当事者の現実に迫るノンフィクション。	近藤雄生／著	新潮社
技術・家政			
527.1/シ/	<b>しあわせ間取り図鑑</b> 「随所に溜まりがある居心地のいい家」「小さくても視線が抜けて広い家」など、思わずうなる間取りに隠された、知恵や工夫を間取り図やカラー写真でビジュアルに解説する。設計事務所一覧、間取りの要望シート付き。	建築知識編集部／編	エクスナレッジ
594/イ/	<b>幸せを呼ぶ和布のつるし飾り</b> 子どもの誕生や家族の健康、幸せを願いながら縫い繋げる、和布で作るつるし飾り。様々なつるし飾りを紹介し、うぐいす、ひょうたんなど、つるし飾りに下げる24種のモチーフの作り方をイラストで解説する。	井上美智子／著	ブティック社
599.0/ウ/	<b>男コピーライター、育休をとる。</b> 育休って男は何をするの？「甲斐」みたいなものはあるの？給付金だけじゃ苦しくない？復職したあとに自分を待ち受けているものは？育児休業をとった社員が語るリアルな言葉。	魚返洋平／著	大和書房

芸術			
723.3/フ/	<b>フェルメール隠された次元</b>	福岡伸一／著	木楽舎
	〈稽古の中断〉の中に描かれていた“音色”とは。〈聖女プラクセデス〉の真贋論争に決着をつける指紋とは。フェルメール世界の謎に迫る。		
728.8/カ/	<b>川端康成と書</b>	水原園博／[編]著	求龍堂
	川端康成が愛蔵した書を、一挙公開。歴史に名を残す名筆家の書や、菊池寛、太宰治、坂口安吾、三島由紀夫、谷崎潤一郎ら文豪の書簡、初恋の人に宛てた川端康成の未投函書簡などを、新発見の美術品も交えて紹介する。		
スポーツ、娯楽			
780.1/オ/	<b>トップアスリートに伝授した勝利を呼び込む身体感覚の磨きかた</b>	小山田良治／著	創元社
	気鋭の治療師が追究してきた、身体の動きの法則を体得する手順「動作のレシピ」を紹介し、身体科学者がトップアスリートの事例を交えつつ解説する。選手たちの座談会も収録。		
791.2/ヤ/	<b>魅惑の桃山茶の湯</b>	矢部良明／著	宮帯出版社
	天正から慶長期に茶の湯界を牽引した利休・秀吉・織部。個性あふれる三者の美学とドラマを、茶道具や茶室から解き明かす。上田流和風堂の機関誌『和風』連載に『茶道雑誌』掲載の論考等を加えて書籍化。		
文学論、詩歌			
908/ゼ/	<b>絶望書店</b>	頭木弘樹／編	河出書房新社
	抱いた夢の終わらせ方を、誰も教えてくれなかった…。夢をあきらめる気持ちに寄り添ってくれる物語を集めたアンソロジー。山田太一「断念するということ」、連城三紀彦「紅き唇」など、全9作品を収録。		
911.3/キ/	<b>生き抜くための俳句塾</b>	北大路翼／著	左右社
	俳句は人間の愚かさを確認する装置である。愚かさを持つ全ての人たちへ贈る、俳句で遊び、負けも笑いに転化する過激で実践的な入門書。俳人になるための心構えから、俳句的脳内回路の作り方、悩み別作句技法までを解説する。		
日本文学—小説			
913.6/イ/	<b>あちらにいる鬼</b>	井上荒野／著	朝日新聞出版
	小説家の父、美しい母、そして瀬戸内寂聴をモデルに、〈書くこと〉と情愛によって貫かれた3人の〈特別な関係〉を長女である著者が描き切る問題作。		
913.6/イマ/	<b>魔眼の匣の殺人</b>	今村昌弘／著	東京創元社
	その日、“魔眼の匣”を9人が訪れた。人里離れたその施設の主は、予言者と恐れられる老女だ。彼女は葉村譲と剣崎比留子をはじめとする来訪者に「あと2日のうちに、この地で4人死ぬ」と告げた…。シリーズ第2弾。		
913.6/カキ/	<b>姑の遺品整理は、迷惑です</b>	垣谷美雨／著	双葉社
	独り暮らしの姑が亡くなった。嫁である望登子はなんとか自分で遺品整理をしようとするが、あまりの物の多さに立ちすくむばかりで…。誰もが直面する問題をユーモラスに描いた長編小説。		
913.6/カン/	<b>お茶壺道中</b>	梶よう子／著	KADOKAWA
	御茶壺道中にあこがれ、葉茶屋の奉公人となった仁吉。旗本阿部正外から茶への熱意を認められ、阿部の臍肩の奉公人となるが…。お茶が映し出す江戸と幕末の変遷を描いた長編小説。		
913.6/カト/	<b>家康に訊け</b>	加藤廣／著	新潮社
	混迷の現代日本の舵取りは、徳川家康に尋ねよ！ 長く隠忍自重の日々を強いられた家康を、「国家経営」の視座から新データで描き直す。『小説新潮』連載の伝奇時代小説「宇都宮城血風録」も併載した、加藤廣の遺作集。		
913.6/コウ/	<b>人工知能</b>	幸田真音／著	PHP 研究所
	悪さばかりしてきた新谷凱が唯一興味を持てたもの、それは「人工知能」の世界だった。AIに携わる仕事に就いた凱は、ある事件の捜査に協力することになり…。		
913.6/コン/	<b>みかんとひよどり</b>	近藤史恵／著	KADOKAWA
	山で遭難したシェフの潮田を助けてくれたのは、無愛想な猟師・大高だった。潮田は、大高の仕留めた獲物を店に出せるよう交渉するが…。ジビエを通して繋がるふたりの成長物語。		

913.6/コン/	<b>機捜 235</b>	今野敏／著	光文社
	渋谷署に分駐所を置く警視庁第二機動捜査隊に、高丸の新しい相棒が着任した。それは白髪頭の定年間際の男・綿長だった。綿長は苦勞を重ね、思いがけない実力を秘めた刑事で…。		
913.6/スミ/	<b>麦本三步の好きなもの</b>	住野よる／著	幻冬舎
	朝寝坊、チーズ蒸しパン、そして本。好きなものがたくさんあるから、毎日はずっと楽しい。図書館勤務の20代女子、麦本三步のなにげない日常を描く。		
913.6/ツツ/	<b>傲慢と善良</b>	辻村深月／著	朝日新聞出版
	進学、就職、恋愛、友情、結婚…。あらゆる選択を決断してきたのは本当に「私自身」なのだろうか？ 忽然と姿を消した婚約者の居場所を探すため、西澤架は、彼女の過去と向き合うことになるが…。		
913.6/マチ/	<b>ぼくはきっとやさしい</b>	町屋良平／著	河出書房新社
	あの、雪の日にがばと感情の蓋がひらいて以来、ぼくはかのじょに声をかけることもないまま、無感動な日々をおくっていた…。無気力系男子・岳文の、ピュアで無謀な恋愛小説。		
913.6/ヨコ/	<b>ノースライト</b>	横山秀夫／著	新潮社
	一級建築士の青瀬が設計した新築の家。しかし、Y邸に越してきたはずの家族の姿はなく、一脚の「タウトの椅子」だけが浅間山を望むように残されていた。Y邸で何が起きたのか？ 一家の行方は…。		
913.6/ヨシ/2	<b>横道世之介 続</b>	吉田修一／著	中央公論新社
	バブルの売り手市場に乗り遅れ、バイトで食いつなぐ横道世之介、24歳。人生のダメな時期にあるが、彼の周りには笑顔が絶えない。そして27年後、オリンピックに沸く東京で、小さな奇跡が…。		
913.6/ユメ/	<b>陰陽師 女蛇ノ巻</b>	夢枕獏／著	文藝春秋
	毎夜あらわれては、少納言の右手ばかりを噛む女の正体とは…。稀代の陰陽師・安倍晴明と、笛の名手・源博雅の名コンビが、都の怪異を解き明かす。「にぎにぎ少納言」ほか全12編を収録。		

## 本館 1 階 展 示 の ご 案 内

■開催中～4/25(木)■

### 「飛山濃水の文学 明治・大正・昭和の郷土作家11人」展

明治から昭和にかけて活躍した岐阜県出身の作家11人について展示します。岐阜県図書館で長年にわたり蓄積してきた資料と、県内外で保管されてきた貴重な資料とともに、「風土と言葉」という視点で紹介いたします。

■4/27(土)

～5/15(水)■

### 元号を知ろう展

平成から新しい元号へと変わります。この機会に、元号の歴史をひもといてみましょう。



## 貸出カードの登録内容を確認します

図書館の貸出カードの有効期限は3年です。有効期限が近づいた方にはカウンターでお声かけし、住所・電話番号等の確認を行います。

登録内容の確認のため、住所の証明できるものをご提示ください。ご本人がご来館ください。高校生以下の方は、保護者の方の証明でも可能です。

有効期限が切れても、貸出・予約等はできますが、ホームページ上での貸出更新ができません。また、期限から3年を経過すると、カードは除籍になりますのでご注意ください。

開館時間 【本館】 平日 10:00～19:00、  
土日祝 10:00～17:00  
【分館】 全日 9:00～17:00

休館日 毎週月曜日、毎月最終金曜日  
4月 1,8,15,22,26,29日

スマート  
フォン用  
サイト



「図書館だより」2019年4月号

発行：可児市立図書館 電話 (0574) 62-5120

資料検索・予約は <http://www.kani-lib.jp/> をどうぞご利用ください。